

3-11 Hoshigadai, Tajimi City, Gifu Pref., 507-0811 JAPAN

TEL.+81-572-22-5381 / FAX.+81-572-25-1163

URL:<http://www.ceram.rd.pref.gifu.lg.jp>Mail:info@ceram.rd.pref.gifu.jp

Gifu Prefectural Ceramics Research Institute

岐阜県セラミックス研究所

since 1911

TM

■ 「CO濃度計」のご紹介

本装置は、アルミナ管を炉に差し込み、炉内のガスを吸引して、CO濃度を測定します。1測定にかかる時間はおよそ2分です。還元開始から終了までの濃度変化や、複数個所の測定をすることで炉内のCO濃度の分布を知ることができます。焼成中のCO濃度は、製品の品質や焼成時の燃費に影響しますので、一度、把握してみたいはいかがでしょうか。職員が測定に参りますので、興味をもたれた方はご連絡ください（担当：立石）。

- メーカー名 : 理研計器
- 型番 : RI-557
- 装置仕様
 - 測定ガス : CO
 - 測定範囲 : 0~20vol%
 - 指示精度 : フルスケールの±3%以内
 - サンプリング方式 : 内蔵ポンプによる自動吸引、吸引量0.8~1.2L/min
 - 使用温度 : 0~40℃



■ 「平成27年度岐阜県中小企業技術者研修」を開催しました

平成28年3月10日(木)、3月11日(金)、3月17日(木)の3日間にわたり、当所において「平成27年度岐阜県中小企業技術者研修」を開催しました。

この研修は、岐阜県において中小企業の技術力向上を支援することを目的として、県内中小企業の技術者の方々に、専門的技術開発能力、技術に関する基礎的知識及び専門的知識を習得していただくために実施している施策の一環です。



第1日目には、国立研究開発法人産業技術総合研究所中部センター上級主任研究員の杉山豊彦氏による「釉薬テストピースのデータベース化とその活用」、第2日目には公益財団法人科学技術交流財団あいちシンクロトン光センターシンクロトン光産業利用コーディネータの東博純氏による「シンクロトン光による釉薬の分析」、第3日目には国立大学法人名古屋工業大学先進セラミックス研究センター長の太田敏孝氏による「セラミックス科学による桃山陶及びその再現品等の分析」について、それぞれご講演いただきました。

岐阜県内に事業所を有する中小企業者やその従業員の方々が参加されて、人材養成の場として積極的に活用されました。

■ 「陶磁器の自己施釉化に関する研究」を発表しました

平成28年2月29日(月)に、名古屋工業大学先進セラミックス研究センターにおいて「平成27年度成果発表会」が開催されました。この発表会は、名古屋工業大学先進セラミックスセンターと、岐阜県、多治見市、土岐市、瑞浪市の試験研究機関から構成される東濃四試験研究機関協議会にて、共同開催しています。

東濃四試験研究機関協議会として、当所から「陶磁器の自己施釉化に関する研究」を発表しました。



従来の磁器製品は、表面に釉薬を塗ってあるために、釉薬の溜まりができて、レリーフ装飾の輪郭線がぼやけていました。また、施釉するために、ある程度の素地の厚みが必要でした。今回、あらかじめ特殊なガラス相生成成分を土に混ぜて作ることで、模様の輪郭を明確にして、厚みも薄くなりました。

施釉工程が省略されることにより、従来の製造工程よりも、最大で2日の短縮が可能となりました。

今後は、特徴を活かした商品の展開を模索していきます。

〒507-0811

岐阜県多治見市星ヶ台3-11

電話:(0572)22-5381 FAX:(0572)25-1163

URL: <http://www.ceram.rd.pref.gifu.lg.jp>

Mail: info@ceram.rd.pref.gifu.jp